

# 医の倫理審査結果通知書

第 201901076 号  
平成 31 年 1 月 29 日

北九州市立医療センター  
消化器内科 部長 向坂誠一郎 様

北九州市立医療センター  
医の倫理委員会  
委員長 浦部 由利

課題名 The influence of assistant in esophageal endoscopic submucosal dissection using Clutch  
Cutter:An ex vivo model study  
申請者 消化器内科 部長 向坂誠一郎

医の倫理委員会の迅速審査結果を下記のとおり通知します。

判定	承 認	条件付承認	変更の勧告	不 承 認	非 該 当
内 容	<p>(概要) ESD は早期の消化管癌に対する低侵襲な内視鏡治療として開発され、標準治療として普及している。クラッチカッターはハサミ型デバイスであり、他デバイスと比較して ESD の治療成績を向上させることが報告されている。しかし、デバイスの回転・開閉の操作は他デバイスにない操作であり、介助者にも手技の修練が必要となる。そのため、介助者の技術が治療成績に影響する可能性が考えられる。しかし、ESD における介助者の技術と治療成績を比較した報告はない。今回豚の ESD トレーニングモデルを用いて介助者の技術と ESD の治療成績を検討するもの。</p> <p>(理由) 侵襲を伴わない研究であって介入を行わない研究に該当するため。</p>				